

産業廃棄物の現状 (令和6年度実績)

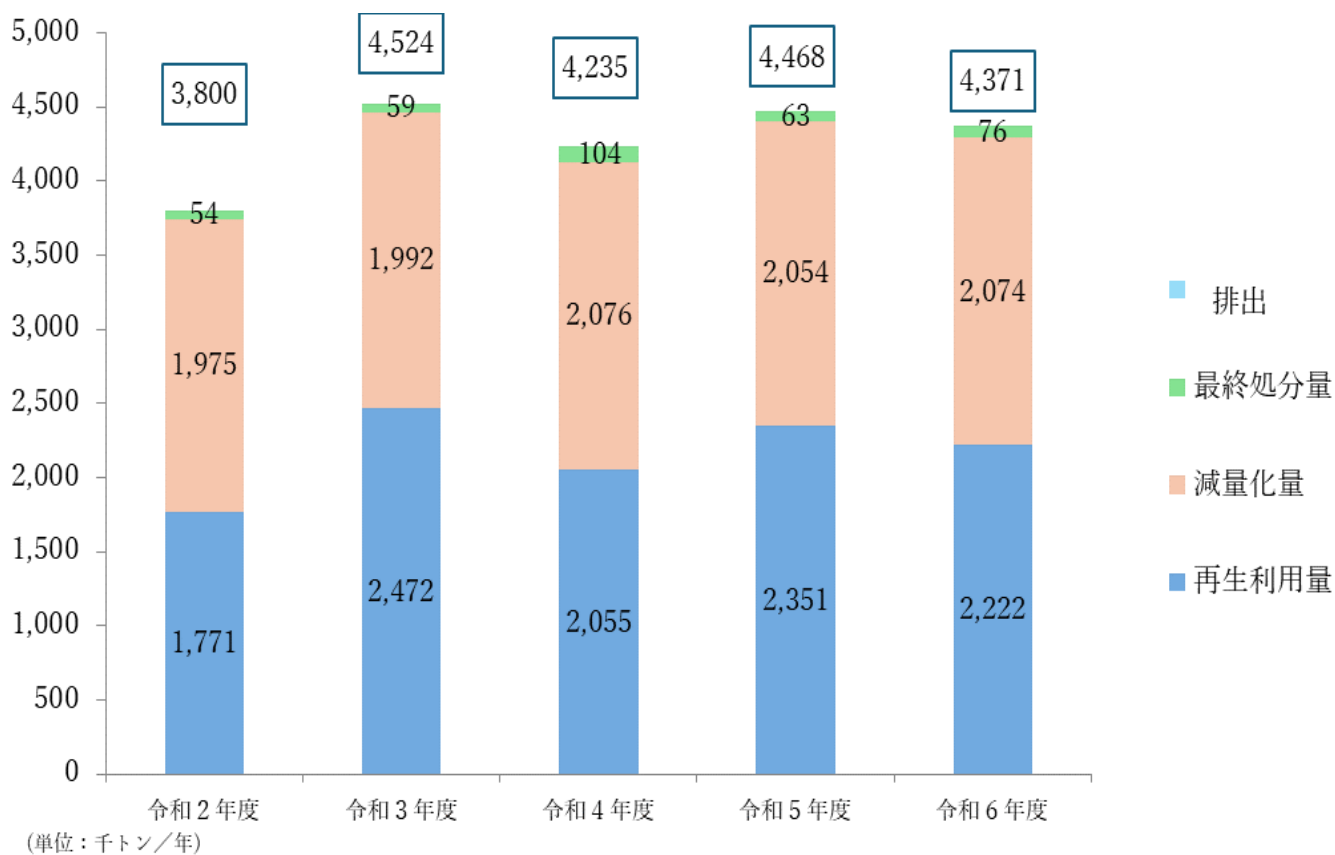
令和8年6月

千 葉 市

1 産業廃棄物の現状（令和6年度実績）

（1）産業廃棄物の排出量の経年変化

令和2年度から令和6年度までの千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況の経年変化は下図のとおりです。



注：四捨五入等の関係で合算が合わないことがあります。

図1：千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況

(2) 産業廃棄物の種類別排出量の経年変化

表 1 種類別排出量の内訳

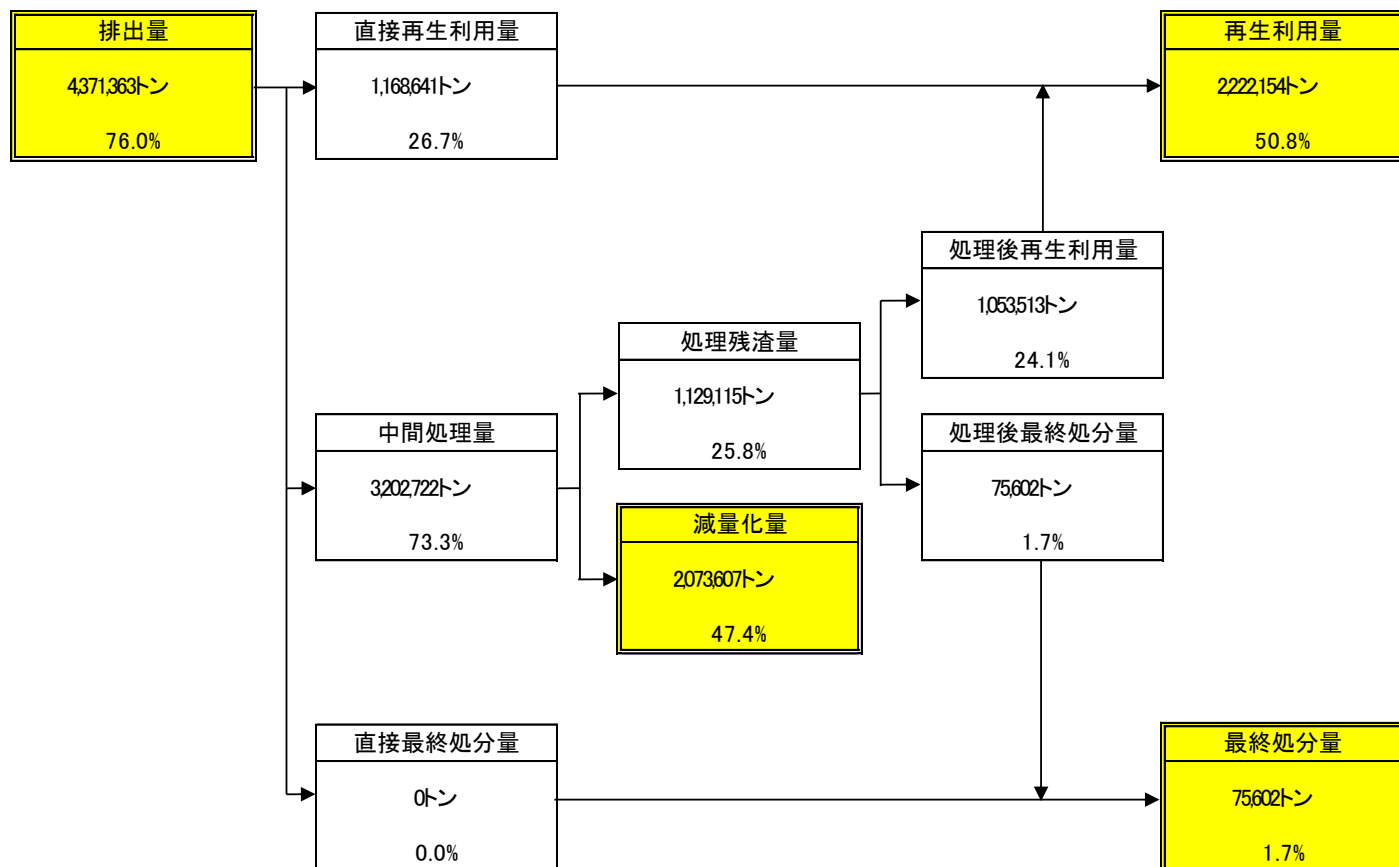
単位:トン/年

産業廃棄物の種類		産業廃棄物排出量				
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
燃え殻		794	771	787	852	443
汚泥		1,619,038	1,667,810	2,182,845	2,281,040	2,222,497
廃油		78,358	75,533	94,492	66,467	65,686
廃酸		70,866	70,026	63,604	61,554	62,735
廃アルカリ		1,921	2,252	1,972	1,398	1,386
廃プラスチック類		42,375	41,075	43,628	49,438	53,209
紙くず		5,330	5,376	7,599	6,526	5,338
木くず		36,557	35,457	49,534	58,733	47,335
繊維くず		630	608	1,312	615	572
動植物性残さ		6,215	5,572	5,237	6,309	3,955
動物性固形不要物		該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし
ゴムくず		69	65	93	101	111
金属くず		187,476	532,637	384,537	588,143	553,888
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		154,820	142,705	174,786	103,058	126,520
鉱さい		264,031	526,607	297,741	298,674	285,701
がれき類		469,840	480,039	526,435	491,102	509,746
建設系混合廃棄物		21,923	20,428	27,453	25,388	24,077
動物のふん尿		75,082	84,913	94,457	84,913	65,686
動物の死体		該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし
ばいじん		728,566	768,877	237,609	302,254	299,057
特別 管理 産業 廃棄物	廃油	2,000	2,118	2,332	1,976	2,098
	廃酸	26,517	53,153	31,001	30,865	32,331
	廃アルカリ	472	577	500	579	524
	感染性産業廃棄物	5,102	5,368	4,468	4,870	5,117
	特定有害産業廃棄物	1,930	1,978	2,497	3,149	3,352
合 計		4,005,804	3,799,914	4,523,944	4,468,003	4,371,363

（３）産業廃棄物の排出及び処理・処分の状況

令和６年度における産業廃棄物の処理フローは下図のとおりです。

排出量 4,371,363 トンに対する処理・処分の内訳は、再生利用量 2,222,154 トン（排出量の 50.8%）、減量化量 2,073,607 トン（同 47.4%）、最終処分量 75,602 トン（同 1.7%）です。



注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

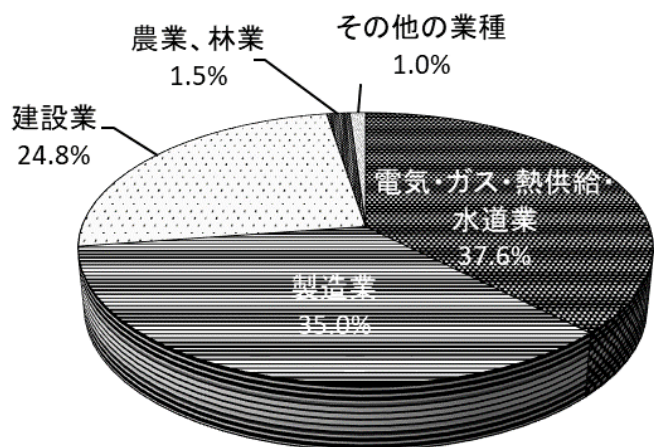
図２ 産業廃棄物の処理フロー

項 目	量（トン／年）	比率
産業廃棄物排出量	4,371,363	100.0%
再生利用量	2,222,154	50.8%
減量化量	2,073,607	47.4%
最終処分量	75,602	1.7%

(4) 産業廃棄物の業種別等の排出状況

ア 業種別排出量

業種別排出量では、電気・ガス・熱供給・水道業が1,644,975トンと最も多く、全体の37.6%です。次いで、製造業が1,531,785トン(35.0%)、建設業が1,082,979トン(24.8%)の順に多く、この3業種で全体の97.4%を占めています。



業種	排出量	
	(t/年)	構成比
電気・ガス・熱供給・水道業	1,644,975	37.6%
製造業	1,531,785	35.0%
建設業	1,082,979	24.8%
農業、林業	66,012	1.5%
その他の業種	45,612	1.0%
合 計	4,371,363	100.0%

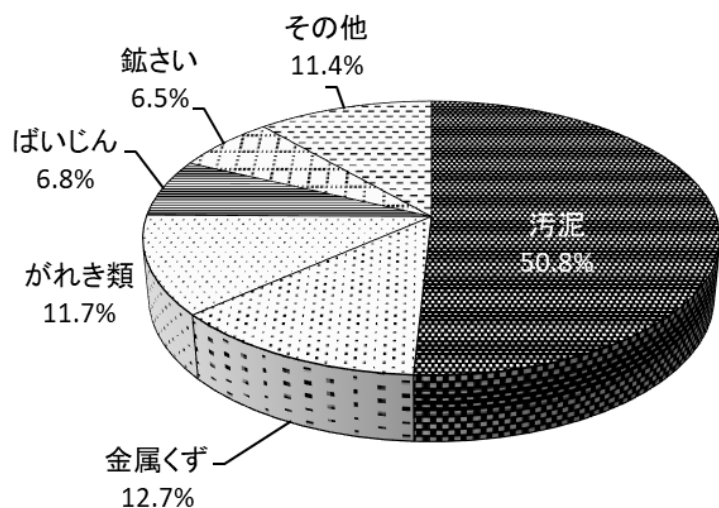
注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図3 業種別排出量

イ 種類別排出量

種類別排出量では、汚泥が最も多く2,281,040トンと排出量全体の50.8%を占めています。

次いで、金属くずが553,888トン(12.7%)と多く、がれき類が509,746トン(11.7%)、ばいじんが299,057トン(6.8%)、鉍さいが285,701トン(6.5%)の順に多くなっています。



廃棄物名	排出量	
	(t/年)	構成比
汚泥	2,222,497	50.8%
金属くず	553,888	12.7%
がれき類	509,746	11.7%
ばいじん	299,057	6.8%
鉍さい	285,701	6.5%
その他	500,474	11.4%
合 計	4,371,363	100.0%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図4 種類別排出量

(5) 多量排出事業者の排出状況

市内からの産業廃棄物排出量（4,371,363 トン）に対して、多量排出事業者の産業廃棄物排出量（3,318,028 トン）の排出割合は、75.9%となっています。

表2 多量排出事業者業種別排出量及び構成比比較

業種	総排出量		うち多量排出事業者		
	排出量 (トン／年)	構成比	排出量 (トン／年)	構成比	構成比 (対総排出量 (※))
電気・ガス・熱供給・水道業	1,644,975	37.6%	1,642,841	49.5%	37.6%
製造業	1,531,785	35.0%	1,401,448	42.2%	32.0%
建設業	1,082,979	24.8%	269,091	8.1%	6.2%
農業・林業	66,012	1.5%	0	0%	0%
その他の業種	45,612	1.0%	4,649	0.1%	0.1%
合計	4,371,363 (※)	100%	3,318,028	100%	75.9%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。